

ナンバリング	B④10	科目名	あそび実践演習（こどもと造形）		担当教員	久保寺 賀 子	
ディプロマポリシーとの関連性	①・②		担当形態	演習			
テキスト	適宜資料を配布する。			単位数 授業形態	1単位 演習	開講時期	後期
<p>講義概要</p> <p>■到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育内容表現の造形活動に関する知識や技術を習得し、説明できる。 ・こどもの遊びを豊かな経験へと発展させるために造形を活用できる。 ・造形表現の活動に係る教材や道具、素材の活用、および環境構成への展開をすることができる。 <p>■授業の概要</p> <p>こどもの学びは、日常生活の中の遊びを通して自然に体得します。ここに造形遊びを導入することで、全身を使った表現を獲得し、心身の発育を促します。保育者には、こどもの創造性や発想、思考を理解し、同調できることが求められ、そのための豊かな感性や柔軟な思考も必要とされます。</p> <p>ここでは、造形の基礎を主軸に平面素材、立体素材の可能性を探求し、実践へとつなげます。身の回りにある日常用品も活用し、その特性や性質を理解し、表現内容へと創造していく過程を重視します。</p> <p>■授業計画</p> <p>第1回 オリエンテーション 「こどもとあそびについて」</p> <p>第2回 基礎造形・構成 「平面」</p> <p>第3回 基礎造形・構成 「立体」</p> <p>第4回 平面表現 「版画の技法1」</p> <p>第5回 平面表現 「版画の技法2」</p> <p>第6回 平面表現 「窓の装飾」</p> <p>第7回 平面表現のまとめ 「平面表現のデザイン1」</p> <p>第8回 平面表現のまとめ 「平面表現のデザイン2」</p> <p>第9回 平面表現のまとめ 「模擬保育」</p> <p>第10回 立体素材 「生活素材の活用1」</p> <p>第11回 立体素材 「生活素材の活用2」</p> <p>第12回 立体素材 「粘土の活用」</p> <p>第13回 立体表現のまとめ 「立体表現のデザイン1」</p> <p>第14回 立体表現のまとめ 「立体表現のデザイン2」</p> <p>第15回 立体表現のまとめ 「模擬保育」</p> <p>■準備学習</p> <p>各回の授業内で説明およびプリント配布にて提示します。</p> <p>■評価方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積極的な参加態度や姿勢 — 40% ・提出物（作品、ポートフォリオ、レポート） — 60% 							
参考文献	横 英子「保育をひらく造形表現」萌文書林 樋口一成「幼児造形の基礎－乳幼児の造形表現と造形素材」萌文書林			特記事項	【課題等へのフィードバック方法】 準備学習の予習をおこない、授業内の経験を以って授業後の復習へとつなげる。作成課題に関する資料収集や過程を記録し、感想やカリキュラムの考案を加えてポートフォリオにまとめること。		
卒業・免許状・資格との関連	幼稚園教諭免許状選択必修 保育士資格選択必修			幼保	領域に関する専門的事項 保育の内容・方法に関する科目		
実務経験のある教員等による授業内容							